

Remote Education in IWate 多様な学びネットワークの取組

現状、課題

- 少子化の影響により、小規模校においては教員数が限られ、生徒のニーズに応じた科目の開設に課題がある。
- 不登校等の生徒や、地域みらい留学365で本県実施校に在籍している生徒など多様な背景を有する生徒の学ぶ機会の保障が必要である。

目的

- 生徒のニーズに応じた、教科・科目充実型の遠隔授業を小規模校に対して実施
- 小規模校に在籍している多様な背景を有する生徒の進路実現のため、遠隔授業又は通信教育による支援を実施

令和7年度の取組

主な成果

- ・ 新拠点となった県立高校内から配信を実施
- ・ 効果的な授業のため、授業の特性に応じて、1人1台端末の活用、2時間連続授業等の工夫
- ・ サポート教員留意事項を作成し、サポート教員の業務を統一
- ・ 多様な背景を有する生徒について、各校のニーズを把握
- ・ 通信教育学習会を実施

課題

- ・ 大人数の授業について、生徒の学習状況の確認に、さらに工夫が必要
- ・ 多様な背景を有する生徒一人ひとりの状況に応じた支援について、十分な検討が必要



今後の取組

- ・ 受信校の拡充及び配信教科・科目の拡充にむけた配信環境及び受信環境のさらなる充実
- ・ 多様な背景を有する生徒の学習支援体制整備